

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	妊娠初期における自己認識された長所と産後うつ症状の関連に関する調査
研究責任者	聖隷浜松病院 産婦人科 山田拓馬
研究実施体制	単施設の後方視摘研究 データは聖隷浜松病院から集積する
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030 年 3 月 31 日
対象者	当院初診時に実施する問診票において、自分の長所の自由記載の記載があり、当院で分娩し、1 か月健診を受診した妊婦の方
研究の意義・目的	産後うつは母親自身の生活の質を低下させるだけでなく、母子ボンディング、児の発達、家族機能にも影響を及ぼす可能性があります。そのため、妊娠中から産後うつ症状のリスクを把握し、早期支援につなげることが重要です。 これまで、産後うつのリスク因子として、既往精神疾患、社会的支援の不足など、さまざまな心理社会的要因が報告されています。一方で、妊娠初期の通常診療で得られる問診情報の中には、妊婦本人が自ら認識している性格傾向や対処スタイルを反映する記載が含まれている可能性があります。特に「自分の長所」に関する自由記載は、妊婦が自分自身をどのように捉えているかを示す情報で、産後のメンタルヘルス支援に役立つ可能性があります。 一般に、長所は保護的な心理的資源として捉えられることが多いです。例えば、楽観的、前向き、明るい、おおらかといった自己認識は、ストレスへの柔軟な対処やレジリエンスを反映し、産後うつ症状の低リスクと関連する可能性があります。一方で、責任感が強い、真面目、頑張り屋、我慢強い、気遣いができる、他者を優先するといった長所は、産後育児の文脈では、過剰適応、自己犠牲、援助要請困難、母親役割への過度な責任感につながる可能性があります。したがって、長所は一様に保護的に働くとは限らず、その内容によっては産後うつ症状の脆弱性を示すマーカーとなる可能性があります。 しかし、妊娠初期問診における「自分の長所」の自由記載を用いて、自己認識された長所の内容と産後うつ症状との関連を検討した研究は限られています。本研究では、妊娠初期の自由記載問診から抽出した自己認識された長所を臨床的に解釈可能なドメインに分類し、産後 1 か月時点の産後うつ症状との関連を明らかにすることを目的とします。 本研究により、妊娠初期の通常問診で得られる自由記載情報を、産後メンタルヘルス支援につなげるための基礎資料を得ることを目指します。特に、責任感や気遣いといった社会的に望ましい長所が、産後の文脈では支援ニーズを示す可能性があるかを検討する点に意義があると考えています。
研究の方法	カルテ・診療録を用いた後方指摘コホート研究です。 対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。

	・妊娠初期に実施している問診票(自分の長所) ・分娩後 1 か月健診でのエジンバラ産後うつ病質問票(EPDS) ・周産期背景情報(年齢、分娩歴、既往精神疾患の有無、就労状況等、解析に必要な項目) (1) 自分の長所の分類 Positive/easygoing orientation(前向き・楽観的・おおらかさ) 明るい、前向き、楽観的、ポジティブ、よく笑う、くよくよしない、気にしない、おおらか、マイペース、切り替えが早い、など。 (2) Responsibility/diligence(責任感・勤勉性) 真面目、責任感がある、頑張り屋、努力家、我慢強い、忍耐強い、根気強い、粘り強い、最後までやる、こつこつ取り組む、など。 (3) Interpersonal sensitivity/caregiving(対人配慮・ケア志向) 優しい、思いやりがある、気遣いができる、気配りができる、人の気持ちを考える、面倒見が良い、聞き上手、人を助ける、など。 (4) Social openness/assertiveness(社交性・自己表出) 誰とでも話せる、人見知りしない、社交的、コミュニケーション力がある、人と関わるのが好き、自分の意見を言える、相談できる、など。 Other specific strengths(その他の具体的長所) 上記 4 ドメインに該当しない具体的な長所。例として、健康、体力がある、器用、料理が得意、記憶力が良い、決断力がある、行動力がある、慎重、計画的、几帳面、素直、正直、など。 アウトカム(産後うつ) 産後 1 か月健診で実施する EPDS の合計点を用い、9 点以上を「産後うつ(抑うつ症状)あり」と定義します。 統計解析 各長所ドメインと産後うつ症状との関連を検討するため、ロジスティック回帰分析を行い、粗オッズ比(crude odds ratio:cOR)および 95%信頼区間を算出します。次に、分娩時年齢、経産、既往精神疾患等の交絡因子で調整した多変量ロジスティック回帰分析を行い、調整オッズ比(adjusted odds ratio:aOR)および 95%信頼区間を算出します
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産婦人科(氏名) 山田拓馬 TEL:053-474-2222(代表) 産婦人科外来 9:00~17:00 平日